

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和 7年 2月 26日

公表: 令和 7年 3月 21日

事業所名 放課後等デイサービス にじいろPROGRESS II

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7	0	活動スペースを目的によって分けることでスペースの確保・子どもへの配慮をする	パーティションや机の配置などを活用し、活動に集中できる環境を作る
	2	職員の配置数は適切である	7	0	活動プログラムにより、職員と子どものバランスが取れないことがある	木工の個別での支援が必要になるため、送迎に出る職員の人数や時間帯を意識して活動を行う
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	2	5	事業所へ行くまでに階段があり、エレベーターはない	必要な場合は手をつないだり、後ろから支えたり補助を行う
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7	0	支援での問題や気になることがある	職員間での共有をすることで、支援の統一を図る。また、その場に参加できなかった職員にも後日伝達を行っている
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	0	毎年アンケートを実施し、改善に努めている	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7	0	毎年ホームページに掲載している	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	7		外部の講師などを招き、事業所の支援や支援室について評価してもらっている
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7	0	毎月研修を行っている	今後も研修に積極的に参加し、支援の質を上げていく

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7	0	ISSP、SM社会性能力チェック等のツールを用いてサービスを提供している	頂いた検査結果などを共有し、その子の特性に合わせた支援を行う
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	1	ISSP、SM社会性能力チェック等のツールを用いてサービスを提供している	頂いた検査結果などを共有し、その子の特性に合わせた支援を行う
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7	0	プログラムを決める際には、職員同士で確認をしてから行う	プログラムの向上を目指し、職員同士での意見交流を深め、支援の統一を目指す
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	1	プログラムを決める際には、職員同士で確認をしてから行う 週ごとでカリキュラムを組んでいる	プログラムの向上を目指し、職員同士での意見交流を深め、支援の統一を目指す
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7	0	活動時間に合わせ、見通しを持ったプログラムを決めている 長期休暇は日ごとのプログラムを作成している	長期休暇、イベントなど、活動できる時間に合わせることが提供していく
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7	0	来所する子どもの組み合わせに応じてカリキュラムを組んでいる	個別と集団活動が偏りすぎないように子どもそれぞれの支援を確認していく
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	0	朝礼で支援内容、その日のスケジュールについて確認を行っている	イレギュラーな動きや自分以外の職員についても確認を行うことで見通しを立てる
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	3	重要度・緊急度の高いものはその日のうちに確認できる職員だけでも先に共有をし、共有ができなかった分については、翌日に朝礼で職員に伝達ができるようにしている	最終的に職員全員に周知できるよう、段階を分けて、必要に応じて伝達を行う
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	0	支援記録日誌に支援内容や特記事項がある際は記入をする	その場に居合わせなかった職員が確認できるようにする
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7	0	更新の時期に合わせ、又は個別に必要な方にはその都度モニタリングをして計画を見直しをしている	モニタリングでは、職員間での意見の確認もを行い、情報を共有する
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	7	0	面談を行い利用者に必要な基本活動を組み合わせ支援をしている		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7	0	児童発達支援管理責任者が参加している	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6	1	学校の情報は保護者とやり取りしているが、調整が必要な場合には学校と連絡を取り連携を図っている	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	5	2	医療ケアが必要な利用者の受け入れは経験がない	提携している病院はあるが、医療ケアが必要な利用者の受け入れは経験がないため、フローを確認しておく
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	6	1	法人が運営する児童発達支援サービスからの引継ぎなど、連携を行っている	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	6	1	放デイから障害福祉サービスへ移行の経験がないが、必要な場合は書類を作成し情報共有を行う	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7	0	外部の講師から研修を受けている	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	7	0	長期休暇などに、児童館を利用したり、地域貢献活動を行う中で近隣にお住まいのお子さまとも関わりを持っている	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	3	4	協議会の参加は出来ていない	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7	0	サービス提供記録や送迎時に保護者さまに様子をお伝えしている	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	5	2	保護者さまからのご相談やご要望をいただいた際に都度行っている	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	0	契約時に説明を行っている	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7	0	相談があった際には、その都度助言を行ったり、家族支援として面談を行うこともある	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	7	0	毎年2回保護者会を開催している	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7	0	報告、相談を速やかに行い、冗長まで報告ができるよう、フローを確認している	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	0	Lステップにて日ごろの支援、行事について発信している	
	35	個人情報に十分注意している	7	0	個人情報には施錠できるロッカーにて保管、外に発信するものに関しては写真などの加工を行っている。細心の注意を払っている	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	0	イラスト、文字等のツールを使用して対応している	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	7	0	フードパントリーを行い、地域の方との交流を図っている	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7	0	公式LINEやHUGのお知らせにて重要事項は配信している	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	0	半年に一度、防災訓練を行っており、イベントや長期休暇などを利用し、防災を身近に感じてもらえるよう、イベントに取り込んでいる	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	0	虐待防止委員会の設置、研修を行っている	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	7	0	身体拘束が必要な児童に対しては職員間で話し合い、保護者に説明している	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7	0	保護者と連絡を取り、アレルギーについての確認と、対応方法について確認している	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7	0	問題があった際には即座にヒヤリハットを作成して、共有している	